

土木技術は、地域社会、とくにそこで毎日の生活を送っている多くの人々の日々の営みに多大な関係をもっております。人々は好むと好まざるとにかかわらず、土木技術者が関与した環境の中でその毎日を送り、よりよき明日を願いつづけているからです。

● このページの日本地図は、日本リーダーズダイジェスト社刊の「最新世界大地図」から転載したものです。

特集・地域社会 と 土木技術

また、社会の一員としてのわれわれも、多くの人々に豊かな市民生活を送っていただくために、職場にあって今日もがんばっているはずで、公共の施設をつくるという形で。

しかし、地域社会はときにつくられていく構造物に拒絶反応を示します。ところどころでその軋轢が聞かれます。そして、第一線の土木技術者は悩みます。

「なにゆえにこのようになったのか」

「なにが欠けているのか」

「どうすればよいのか」と。

先輩の教えの中にはなかった今日の事態と対応の仕方、それら乗り越えるために、知らなければならない一つの機会を新年号に設けました。

新年号から教訓めいたものを企画することはさけるべきことかとも考えましたが、執筆者各位のご協力を得て、とりまとめたのがこの特集です。

第1部では、プロローグとして歴史的な観点から土木技術と地域社会の交流をとらえ問題点を提起していただきました。

第2部では、10件に及ぶ実施例に話題を求め、ケーススタディという形で地域社会とのかかわりあい、それぞれ2名の執筆者に述べていただきました。実施例1件につき2名を選んでコメントをいただいた理由は、2人のご意見を対比させるということではなく、いろいろな見方があるという、あたりまえのことをふまえたことを、まず、お断りしておきます。

第3部は、今回の特集エピソードにあたるもので、これからの土木技術者の心情に語りかける、あるべき姿の一つであります。

新しい年をすこやかに送るために、ご一読をおすすめいたします。

会誌編集委員会